



vol 238

幼少期から音楽に触れていた山谷さん。高校1年生のころ「音楽で何かしたい」と考えたが、自分は音痴と自覚していた。バンド活動ができないと落ち込んでいた中、思い付いたのが音楽メディアの配信者となることだ。団体立ち上げの準備に取り掛かかき、2年後にSOUNDbeSOUNDを設立。高校時代に出会った人たちを誘い2014年3月20日、団体として初制作のPVを投稿した。現在までに作成・投稿したPVの本数は10本に上る。「各アーティストのイメージに合ったPV作りは大変ですが、PV配信後にいい反響が返ってくるとうれしい」と山谷さんは話す。

これまで50件以上のPV撮影依頼が来ているSOUNDbeSOUND。しかし、実際に制作を引き受けているのはその10分の1だという。「PVの制作には時間がかかる。誠意があるアーティストを取り上げていくことが大事だと思うんです」。アーティストと音楽に真摯に向き合う山谷さんの姿勢がうかがえた。その裏には、山谷さんがマイナーミュージックの文化が立たされている現状を危惧している面もある。

近年、行政が主導となり野外ライブを禁止する市町村が増加している。「このままではミュージシャンの表現の場所がどんどん奪われていくと感じています」。規制によるストリートライブ文化への影響は深刻だ。山谷さんは肌身でストリートアーティストたちの気持ちを知るために大学を3月で中退して上京し、路上での生活を始める。「日本ではストリートライブやライブハウスが海外に比べ受け入れられていない。ボトムアップ的な音楽発信をすることが今後の活動です」。SOUNDbeSOUNDと山谷さんの挑戦はまだ始まったばかりだ。(聞き手=青野 巧)

SOUND be SOUND



HomePage : <http://soundbesound.com>

Twitter : @sound_be_sound

facebook : SOUND be SOUND

(写真提供=

オオカドタクヤ)

「音楽と明日をつくる」。音楽配信団体SOUNDbeSOUNDが音楽の未来を創造しようという思いから提示しているスローガンだ。京都造形芸術大2年生で代表の山谷和史さんが高校3年生の時に立ち上げた。

音楽配信団体
代表 山谷和史
SOUNDbeSOUND
音楽への思い

ストリートやライブハウスで活動するマイナーミュージックのアーティストたち。彼らを映像で取り上げTwitterやYouTubeなどを用いて発信している。4月からストリートの現状を知るために路上生活を始める山谷さんがSOUNDbeSOUNDで伝えたい思いとは何か。

FOCUSは

- 神戸大学ニューズネット委員会
- 同志社大学 PRESS 編集部
- NEWS 立命通信社
- 関学新月通信社
- 阪大 POST 通信社
- 関西大学タイムズ編集部
- 神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
- 京都女子大学藤花通信編集部
- 京都大学 CLOCK 編集部
- の共同編集による週刊フリーペーパーです

UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟

(公式 HP) <http://www.unn-news.com/>

■共同編集室 〒532-0011

大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315

(FAX) 06-6829-6353

(MAIL) info@unn-news.com